

久山中便り

関西満喫の旅2

二年生修学旅行

二年生の修学旅行の感想を一部紹介します。

・どこの見学地に行つても同じことを感じたけれど、本物をしっかりと感じた。写真だけで、「すごい」「きれい」「美しい」などを感じるが、それと比べ物にならないくらい本物がすごかった。

・ドライバーさんが、「京都は景観保護にとても厳しい」と教えてくださったため、街中を見渡していたら、樹木を取り入れた外観を大切にしているところを見つけることができた。

・初めて金閣寺を見ましたが、思ったよりも小さくて、キラキラしていたので、すごくびっくりしました。ガイドさんの話を聞くことで、知らなかつたことが聞けて良かったです。奈良は素敵な場所で歴史深いところだけど、京都や大阪に比べて観光客が少なかった。交通の便が悪いので立ち寄りにくいうからだと聞いた。歴史ある街だからこそ、未来に残そうとする人々の願いがあると思う。奈良の方た

久山中学校
令和7年12月8日発行
第59号

ちように、何事も未来のため、誰かのためを思い、先のことを考えて行動していきたいと思う。

・映画村は、忍者をモチーフとしたアトラクションがあり、体や頭を使いながら、しっかりと楽しむことができました。

一人一人が周りを意識しながら行動した「班別自主研修」。それだけでも、二年生全体としてのチームワークが高まつたと思います。

いよいよ来年は、最上級生となります。久山中を牽引していく学年としての誇りをもつて、すべての活動に団結力を發揮して取り組んでくれることを期待しています。

祝

福岡県人権作文入賞

6日（土）に、第44回「全国中学生人権

作文コンテスト福岡県大会」の表彰式・発表会（作文の朗読）が、春日市にあるクローバープラザがありました。

久山中学校からは、一年生のKさんが特別賞として福岡県教育委員会賞を受賞しました。作文のタイトルは「言葉から生まれる人権侵害」。悪気なく伝えた言葉が、相手を傷つけることになるという内容。これは、近年、「マイ



クロ・アグレッション（無意識の偏見などに基づいて相手を傷つけるような些細な言葉や態度）として、注目されています。

自分が発した言葉で

「はつ」と気になつたら、相手が同意していないよといった目配せや不快であるとの表情、首を振つて異議を唱えている様子、みんなが笑つっていても一人だけ笑つていられない場合などを、敏感に感じることが大切です。

「自分自身を大切にすると同時に、他者を大切にすること」。これが、人権を守っていく上でとても大切なことです。

新しい電子黒板が各教室へ

新しい電子黒板が届きました。これまでのモニターとの違いは、画面に表示されている内容に直接触れて操作できることです。いわゆる大きな画面の「タッチパネル」。

ですので、先生方が強調したい学習内容をすぐに拡大できるし、画面操作で次のスライドに移動できたりします。

また、生徒の皆さんができる考案を発表する場面でも同様の操作が可能になります。久山町にお願いして、年度途中でいただいたICT機器ですので、有効に利用していきたいと思います。

